

白石踊後継者育成事業 白石踊会笠岡支部 今月の活動（令和4年8月）

令和4年8月の白石踊に関わる高校生の活動について報告します。

1. 高校生ボランティア・アワード2022 全国大会 参加

（公財）風に立つライオン基金主催 高校生ボランティア・アワード2022 全国大会に参加しました。

8月16日～17日に東京の新宿住友ビル三角広場で開催されました。地区大会を経て全国から98チームがそれぞれのブースで自分たちの取り組みを紹介しました。

私たちは、他のチームの高校生に白石踊の伝統や私たちの活動を紹介しました。紹介していく中で「実際に踊を踊ってみて」と凄く興味を持ってくれる方もいてとても嬉しかったです。さらに、シンポジウムでは白石踊のことをお話する機会をいただき、会場の高校生の皆さんに取り組みを知っていただけました。

全国の高校生がおこなっている様々な活動、ボランティアには沢山の方法があることを知ることができてとても勉強になりました。私たちと同じように伝統を引き継いでいるチームがあり、これからのようにして広めていくかお互いに話し合いもできました。これからの活動に活かして行きたいです。

この高校生ボランティア・アワードには4年前に渡辺陽先輩が初参加しました。4年前は横浜でリアル開催されたのですが、その後2年間はオンライン開催でした。今回の新宿での開催は3年ぶりに高校生たちが集まることができた大会になりました。全国の皆さんとお会いできたことを大変嬉しく思います。

なお、渡辺陽先輩は、今回は運営のボランティアスタッフとして参加していました。また、4年前に横浜会場で取材して下さった岩波ジュニア新書の編集長も白石踊のブースに立ち寄って下さいました。岩波ジュニア新書「ボランティアをやりたい！——高校生ボランティア・アワードに集まれ」には、白石踊の継承活動も載っています。

（文章：白石颯汰）





2. 山陽新聞投稿文

7月16日に白石島で開催された「白石踊鑑賞・体験ツアー」に私は参加しました。そのときの様子を山陽新聞に投稿したところ、8月25日の朝刊に掲載されました。

枠内が投稿文です。

(文章：白石颯汰)

倉敷翠松高校では、今年、白石踊りの継承など白石島への貢献活動をしようと15人が活動を始めました。そのうち5人が7月16日に白石踊会主催の白石踊鑑賞・体験ツアーに参加しました。到着後、高校生、大学生ガイドに観光地を案内してもらい、夕方になると、とてもきれいな砂浜で夕日をバックにメインの白石踊りが始まりました。一人の唄い手と一人の太鼓を囲んで輪になり、観光客の方々と白石踊の中の基本の踊りである「ブラブラ踊」を踊りました。学校で練習して臨んだとはいえ、初めての現地での白石踊で、しっかり踊れるか不安もありましたが、近くの人と教え合いながら楽しむことができました。衣装を着た島民による踊りも見ることができました。幻想的な雰囲気や、現地の方や観光客の方との一体感など、島へ行かなければ味わえない体験をすることができました。この体験を生かして、島の魅力や白石踊の素晴らしさを少しでも多くの人に知ってもらえるように活動していきたいです。

3. 文化庁事業 白石踊 YouTube 番組

文化庁の「地域の伝統行事等のための伝承事業」の一環として、Canonが全国の祭りを映像化し、配信しています。文化・伝統を継承していく“祭り”という側面だけでなく、昨今、若者離れが進んでいるという“祭り”を「若者たちへも伝えていく」という主旨の下、主人公の“旅人”がカメラを携え、祭りを探検していく約10分のストーリーで紹介しているそうです。

先月、白石踊鑑賞・体験ツアーの取材があり、2022年8月30日から公開されました。白石踊の継承に取り組む若者にもスポットを当てていただいています。ご覧ください。

YouTube 配信

私たちの祭り探検 #5 岡山県・笠岡 島の盆・白石踊

<https://www.youtube.com/watch?v=kzycAmGZE5k&t=3s>



以上